

科名: 生産技術科・電気エネルギー制御科・電子情報技術科 共通

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	安全衛生工学	必須	1期-2期	2	2
教科の区分	系基礎学科					
教科の科目	安全衛生工学					
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
製造業、電気工事業等の現場において技術、人間、組織の3つの観点から安全を確保するために必要な技術、知識を習得する。						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
実践技術者に必要な安全衛生を中心に、安全の原則、災害の種類と対策、安全設備、労働環境及び安全管理について学習します。	①	安全の意義・原則および基礎を知っている。				
	②	基本的な安全指標を知っている。				
	③	産業災害と基本対策について知っている				
	④	労働環境条件と設備について知っている				
	⑤	危険予知訓練およびリスクアセスメントについて知っている				
	⑥	VDT作業と労働衛生実務について知っている				
	⑦	環境問題(ISO14001を含む)と安全について知っている				
	⑧	安全対策の基本的な事項について知っている				
	⑨	労働安全衛生法を知っている。				
	⑩	労働安全衛生マネジメントシステムOSHMSについて知っている				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	安全とは何か。自分の身近な事例を踏まえて考えてきて下さい。さらに、実習・実験においては安全第一ですので安全確保には何が必要であるを考えながら受講してください。
授業科目についての助言	企業の生産現場、工事現場において、まず「安全第一」が最も重要な要素です。企業は現場において様々な安全衛生活動を展開、努力を行っています。「安全」と「衛生」の大切さを、自分のものにしてほしいと思います。
教科書及び参考書(例)	1、教科書:労働安全衛生(13) 日本規格協会 2、補足資料:自作テキスト
授業科目の発展性	安全衛生工学 (全ての実技における安全作業)

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	中間テスト	期末テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
		50	50					
評価割合	授業内容の理解度	50	50					
	技能・技術の習得度							
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲							
	主体性・協調性						減点(最高10点)	

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	1. 労働安全衛生教育を始めるにあたって (1)自己紹介 (2)シラバスの説明及び決め事注意事項 (3)安全衛生第一の思想	講義	・安全衛生第一思想の定着化
2週	2. 労働安全衛生の基本 (1)尊い生命と健康 (2)活性のある職場 (3)安全と生産の一体化 (4)トップダウンとボトムアップの融合 (5)安全衛生の基本コンセプト	講義	・労働安全衛生の基本的考え方
3週	3. 労働災害の現状 (1)災害発生の現状 (2)災害レベルの尺度 (3)災害の種類 (4)災害事例紹介と注意事項	講義	・労働災害の現状を認識する
4週	4. 企業責任 (1)事業者の社会的責任 (2)法の規制 (3)民事責任	講義	・関係法令について
5週	5. 災害防止の考え方 (1)災害防止の原則 (2)不安全な状態と不安全な行動 (3)災害の真の要因 (4)災害対策の4M	講義	・災害防止の実行具体策
6週	6. 人的対策(1) (1)不安全な行動の分析 (2)人の行動を決めるもの	講義	・労働災害基本原因の取り組み方(1) ・人的要因について
7週	7. 人的対策(2) (3)人の行動に影響を及ぼす原因 (4)人的災害防止策	講義	・労働災害基本原因の取り組み方(2) ・人的要因について
8週	8. 設備面(人的)の対策(1) (1)機械設備の安全化 (2)安全防護対策 (3)機械設備の点検	講義	・設備的安全防護対策(1) ・物的要因について
9週	9. 設備面(人的)の対策(2) (4)墜落・転倒の防止 (5)飛来落下の防止 (6)爆発火災の防止	講義	・設備的安全防護対策(2) ・物的要因について
10週	10-1.復習(前半) 10-2.中間テスト	中間テスト	・テキストを復習すること
11週	11.作業・環境面の対策(1) (1)作業方法の安全化 (2)作業方法の改善	講義 演習	・労働災害基本原因の取り組み方(1) ・作業環境的要因について ・作業手順書の作成演習
12週	12.作業・環境面の対策(2) (3)環境条件の改善と点検 (4)保護具の着用	講義	・労働災害基本原因の取り組み方(2) ・作業環境的要因について
13週	13. 管理面の対策(1) (1)安全衛生管理体制 (2)安全教育 (3)セフティー・アセスメント (4)快適職場	講義	・労働災害基本原因の取り組み方(1) ・管理的要因について
14週	14. 管理面の対策(2) (5)職場の自主活動(危険予知活動) ・KYT、ヒヤリハット活動について ・指差呼称・TBMについて	講義	・労働災害基本原因の取り組み方(2) ・管理的要因について ・指差呼称の演習
15週	15-1. KYT4ラウンド法の説明 15-2. KYT4ラウンド法の訓練演習(グループ別)	講義 演習	・KYT訓練演習(グループ別)
16週	16.継続的な向上に向けて (1)国際的な動向と今後の取組 (2)労働安全衛生マネジメント	講義	・継続的な取り組み方について
17週	17-1.復習(後半) 17-2.期末テスト	期末テスト	・テキストを復習すること
18週	18.まとめ (1)職業人としての心構え、明るい職場づくりについて (2)労働災害防止への取組について (3)アンケート	講義	・活力ある職業人として